

T2 iDDR

INTELLIGENT DIGITAL DISK RECORDER

リリースノート

Software Version 1.4.3 (2013年10月)

使用上の注意事項

VGA ディスプレイの接続について

VGA ディスプレイを本機に接続する場合は、本機の電源がオフの状態で行ってください。電源が入っている状態でディスプレイの接続、もしくは取り外しを行うと本機が再起動するおそれがあります。

USB 機器の接続について

本機の録画、もしくは再生中に USB 機器を接続したり、取り外したりしないでください。録画、もしくは再生中の映像・音声途切れるおそれがあります。

IEEE1394 端子の使用について

本機前面、および背面にある IEEE1394 端子はハードディスクなどのストレージ機器接続用の端子です。この端子に DV もしくは HDV 機器を接続することはできません。誤って接続した場合は、Windows のハードウェアウィザードの画面が表示されますので、画面内の[キャンセル] ボタンをクリックして、すみやかに接続した機器を取り外してください。

外部ストレージ機器へのエクスポートについて

本機に USB ハードディスクなどを接続してファイルエクスポートする際は、接続する機器が NTFS でフォーマットされていることをご確認ください。FAT32 でフォーマットされている場合、本機は 4GB 以上のファイルを接続した機器にエクスポートすることができません(警告メッセージが表示されます)。接続する機器が FAT32 でフォーマットされている場合は、他のパソコンへ接続して NTFS でフォーマットするか、ファイルシステムを NTFS へ変換してください。

また、HPFS (Macintosh でフォーマットされたディスク) や、Linux 等でフォーマットされたディスクは使用できません。

ウイルスソフトウェアのインストールについて

本機にアンチウイルスソフトウェアをインストールしないでください。アンチウイルスソフトウェアをインストールするとディスクアクセスなどのパフォーマンスが下がるため、録画・再生が停止したりコマ落ちが発生するおそれがあります。

また、本機に USB メモリやハードディスクを接続する場合は、PC を使用してあらかじめそれらがウイルスに感染していないことを確認してから本機に接続してください。

V1.4.3 の新機能

- 2ch ビューモードを追加しました。
- 可変速再生(0.1 もしくは 0.01 ステップ)のキーボードショートカットを追加しました。
- RS-422 制御で可変速再生する際に、音声の再生をサポートしました。
- フロントLCD パネルを触ってもワークステーションモードからフロントパネルモードへ切り替わらないオプションを追加しました。

更新履歴(不具合修正)

以下の不具合を修正しました。

- インターレースからプログレッシブへの変換を伴う XDCAM MXF へのエクスポートを行うと、フィールドオーダーが正しく変換されない。
- フレームレートの異なるクリップを含むプレイリスト(TWF ファイル)が正しくエクスポートできない。
- マルチチャンネル AAC の Quick Time ファイル再生時に音声が出力されない。
- ファイルを T2 へ FTP 転送すると識別番号が付与される。
- 録画映像にアンシラリーデータが含まれていると追っかけ再生できない。
- ファイルを削除しても V:ドライブの空き容量が増えない。
- 16:9 の Quick Time HQ ファイル(SD サイズ)を再生すると、4:3 のアスペクト比で再生される。
- LPCM 形式の Quick Time ファイルを再生すると音声ノイズが発生する。
- 静止画インポート時、取り込みフレームサイズを 1920x1080 に設定すると、フレームレートが常に 59.94i に設定される。
- バックアップ同期を実行、一時停止すると FTP 接続が再開されない。
- 動作イベントが頻繁にログ出力されると、ステータスバーに赤色の X マークが表示される。
- プレイリストの「自動スクロール」オプションが常時オンになる。
- AVCHD ファイルをネイティブインポートすると、インポートしたファイルの長さが元のファイルと異なる。
- 特定の Quick Time ファイルをインポート、再生すると映像が粗くなる。